

人はなぜ旅をするのか

第一回

ももんてん映像
&
民俗シリーズ

放浪の真護

ごぜ
おんね
と
ローソクと遊行文化

日本の精神文化を解き明かす際に忘れてはならないのが放浪・遊行性である。放浪・遊行性には、多くの宗教者、歌人俳人だけでなく、芸能者としての瞽女がいた。今回の催しは、庶民の哀歓の中に身を置き底辺から社会を支えてきた漂泊者の文化に改めて焦点をあて、さらに海外の放浪民の研究者らをゲストに迎え、共通の地平を探ろうとするものである。

林 雅彦 明治大学教授(日本思想史、民俗学)
1944年東京都生まれ。東京大学大学院人文科学研究科博士課程単位取得退学。専攻は説話文学・絵解き、アジアの宗教民俗学。単著・共著・編著に『日本の絵解き—資料と研究』、『絵解きの東漸』、『日本における民衆と宗教』、『「生と死」の東西文化史』『唱導文化の比較研究』など多数。絵解き研究で第6回日本古典文学学会賞受賞。現在説話文学会代表委員、国際熊野学会代表委員。新宮市市政功労者。

横川 恵子
昭和28年、南魚沼市(旧六日町)生まれ。同市坂戸在住。昭和46年、山田流箏曲を学ぶ。昭和61年より、演奏活動を開始する。平成8年、瞽女唄継承者竹下玲子師に瞽女唄を学ぶ。平成15年、第18回国民文化祭(山形県)参加。平成21年、越後三十三観音札所・瞽女唄奉納の旅。現在、県内外、各地で演奏活動を展開する傍ら、琴、瞽女唄の後進の育成に当たっている。「楽風・むつはな会」主宰、「越後瞽女唄・葛の葉会」会員。



金川 真美子
昭和六十三年、長岡市に生まれる。小学一年生のとき、小林ハルに師事した竹下玲子師にごぜ唄を学ぶ。その後、横川恵子師に習う。現在ごぜ唄の他に長唄を今藤佐志朗より学び、新潟を中心に活動中。



2015年5月5日(火・祝) 14時半開場 / 15時開演

会場 **両国門天ホール** 墨田区両国1-3-9 ムラサビル1-1階
※JR総武線「両国駅」西口から徒歩5分、大江戸線「両国駅」A4、5出口から徒歩10分

料金 一般 2500円 / 門天会員 2300円 / 学生 2000円
※当日は各200円UP 全自由席

●ご予約・お問合せ先
両国門天ホール
Tel & Fax 03-6666-9491 (受付: 13~17時) ticket@monten.jp



5月8日(木) 18時半開場 / 19時開演

会場 **高田世界館** 新潟県上越市本町6-4-21
料金 一般 1500円 / 門天会員・学生 1000円
※当日は各500円UP ※上映会は16時~16時34分となります

●ご予約・お問合せ先
NPO法人 高田瞽女の文化を保存・発信する会
Tel 025-522-3400 Fax 025-522-3143



● **両国門天ホール** 2010年4月より旧門仲天井ホールにて隔月の6回シリーズで記録映画「瞽女さんの唄が聞こえる」(34分・伊東喜雄監督)の上映会を開催し、映画鑑賞のあと各界で活躍中のゲスト講師との座談会を開催。これを通して、瞽女の歴史的・現代的意味を再考する試みを行ってきた。先の企画の第2弾となる本プログラムを企画。 <http://www.monten.jp/>

● **高田瞽女の文化を保存・発信する会** 高田瞽女の文化を保存・発信する会は、高田瞽女の街を全国に発信すると共に、斉藤真一作品や資料の受け入れや、高田瞽女資料館の設置の諸活動を行っております。 <http://www.takadagoze.info>

● **高田世界館** 近代化遺産に認定され、100年も続いている日本で最も古い映画館で日々良き時代を今に伝える上越でも貴重な存在となっている。 <http://www.kai-ten.net/takadaseikaikan/>

予告

第二回 2015年9月 絵解きの世界 ~曼荼羅から紙芝居まで~

瞽女のみならず多彩な芸能者が行き交った中世という時代、中でもユニークなのは「絵解き」僧の団だろ。釈迦の一代記や仏教説話を描いた曼荼羅と呼ばれる絵画を見せながら、節回しよろしく口演するその芸能が「絵解き」である。

第三回 2016年1月 韓・琉・日に通底する巫術の世界

韓国では盲人の男性が悪鬼を払う呪術師になる伝統があったという。韓・琉・日に共通する放浪芸の精神を読み解き、社会の表層だけでなく、「裏」「闇」の文化を発掘しつつ、相互理解の新たな道の開拓を試みる。